

令和5年度 印西市民アカデミーだより

第21号

講座 22：市民活動について学ぶ②

2月16日(金)、市民活動支援センターのスタッフならびに市内で活動している市民活動団体(小林住みよいまちづくりの会、コスモスリボンプロジェクト)の代表を講師に招いて市民活動について学びました。8月4日の講座7「市民活動について学ぶ①」では、市民活動推進課の職員から市民活動の意義や目的、活動などについて学びましたが、今回は、現在精力的に活動している市民活動団体から具体的な活動について講話していただきました。

初めに、市民活動支援センターの宮本氏から、市内の市民活動団体の活動状況や当センターの役割等についてお話していただきました

次に、2つの団体から活動の目的や活動状況について説明を受けました。小林住みよいまちづくりの会は、小林地区(住民と商店街)の活性化のために、ふれあいと絆で助け合えるまちづくりをめざす団体です。

①地域交流ふれあい事業 ②ふれあい健康マージャン事業 ③小林鯉のぼり事業 ④環境整備事業等を活動の柱に20年以上活動している老舗団体です。コスモスリボンプロジェクトは、大学生が立ち上げた団体で、コスモスリボンを身につけて、挨拶することで笑顔と思いやりであふれ、温かく綺麗なまちを作ることをめざす団体です。①みもらん(見守り防犯ランニング部) ②おまつり・イベントの企画運営 ③自主イベント(清掃活動等)を活動の柱に、SNSを使ってイベントの宣伝をしたり、イベントスタッフや参加者を募集したりと、誰でも気軽に参加できる新しい形の市民活動を展開しています。今後こういう活動をする新しい世代の活躍に印西の未来を感じました。

現在、多くの市民アカデミー卒業生が、自分たちのまちを良くしたいと強い思いをもって、市民活動団体を設立したり、既存の市民活動団体に参加するなどして大活躍しています。



市民活動支援センターの目的は…



道作古墳の維持・管理を…



ファミリーでの参加をメインに…

※詳細は市民活動支援センターHP参照



各市民活動団体の活動紹介パネル